

近畿ブロック会議（令和４年７月２５日・和歌山県：グランヴィア和歌山）

参加者は約１００名。開催県の和歌山県を代表して、坂本順一和歌山県会長が歓迎のあいさつを述べた。次いで近畿ブロックを代表して清水尚道近畿ブロック協議会会長があいさつ、福田益和全専各連会長があいさつを述べた。

次いで内閣府副大臣赤池誠章参議院議員、仁坂吉伸和歌山県知事が来賓祝辞を述べ、来賓紹介が行われた。

引き続き、文部科学省専修学校教育振興室の中安史明室長が行政報告を行った。中安室長は、職業実践専門課程の特別交付税による地方財政措置、専門士制度との連携について触れたのち、令和４年度専修学校関係予算、新型コロナウイルス感染症への対応について説明し、特に新型コロナウイルスワクチンの団体接種について理解を求めた。また学び直し（リカレント教育）を促進するための環境整備について「履修証明プログラム」に関して専修学校設置基準等の一部を改正する省令の説明や社会人のリカレント教育の調査報告から課題等を整理して推進していくこと、学校法人制度改革の具体的方策など説明を行った。

全専各連事務局からは、全専各連の今年度の運動方針を述べるとともに、職業実践専門課程の特別交付税による地方財政措置について、各都道府県協会でも積極的な活動を展開するよう要請した。また職業実践専門課程の充実に向け、PDCAサイクルを確立させて「職業教育のマネジメント」を行う重要性を述べた。またこれまでの学校法人制度改革に関する全専各連の活動について触れ、私立学校法改正のポイントや今後の見通しについても説明。最後にTCE財団が行う各種事業への積極的参画についてのお願いをした。

休憩を挟み、各府県からの活動事例発表が行われた。京都府「ニューノーマルにおける外国人留学生の戦略的受入れ体制（京都おこしやすモデル）の構築」（京都栄養医療専門学校広報渉外部高橋周二先生）大阪府「動画サイト『milzil ミルシル』について～大阪の専門学校を、動画で見る知る～」（修成建設専門学校理事長山下裕貴先生）奈良県「文化息づく奈良で学ぶ価値を高める、ナラザニアプロジェクト」（大原和服専門学校学園理事長大原敏敬先生）兵庫県「高専連携教育プログラム事業（兵庫県における高等学校と専門学校が連携した教育プログラム開発・実証事業）」（高等専修学校神戸セミナー喜多徹人先生）。その後、活動事例発表に対するパネルディスカッションが行われた。

最後に閉会の辞を和歌山県専各山本文子副会長が述べ、次期開催県として兵庫県の大岡豊会長があいさつ、その後懇親会となり、全ての日程を終了した。